

## 会報

## こぶし

発行 花北地区  
コミュニティ  
協議会  
編集 総務企画部会



## 時代の変化を考えながら

花北地区コミュニティ協議会 会長 高橋 修

今年はおリンピックの年です。

ある雑誌に「国立競技場と法隆寺」という随筆が載っていました。

56年前のおリンピック時は高度経済成長、工業化のピークであり、「高く大きい」ものを作ることが目標だったが、2020年の日本は、マイナス成長、少子高齢化に直面しており、地球温暖化の面からも国立競技場はコンクリートに変わって、木こそが主役にならないければならないと考えた。

大きなヒントを与えてくれたのは日本の伝統的な木造建築、法隆寺だったそうです。

オリンピックは世界中の人が集まり、最高の競技を観戦するのが醍醐味ですが、日本の最新建築や設備などに目を向けてみるのも楽

しみのひとつかも知れません。

さて、令和元年度のコミュニティ協議会の事業も、皆様のご協力により盛り沢山の事業を各部署ともに無事終えることが出来ました。特に大きな事業としての文化祭は、出展者の皆様のご協力と各部署の方々が力を合わせ、盛会裏に開催することが出来ました。

また、花北地区民を募っての視察研修旅行も約80名と多くの方々の参加を戴きました。

間もなく令和2年度の事業が始まります。今年も2年に一度の運動会の年でもあります。

最近では花巻も都市化が進み、隣近所のお付き合いが薄れて来ているという話も聞かれます。運動会は地域の方々が一堂に会

し、同じ目的で汗を流し、その後は楽しい懇親会とコミュニティつくりには最適の催しだと思えます。5月末か6月上旬頃に開催が予定されると思いますので、今から優勝を目指し選手選抜と日程調整をお願い致します。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われるように、東日本大震災から9年が過ぎて、風化が心配されておりますが、改めて災害に対して地域で出来ることは何かを考え、事業を進めてまいります。



前回の大運動会 (平成30年6月3日)

## リサイクル推進

## ▼集団回収活動の感謝状受賞

星が丘一丁目自治会

保健衛生部長 高橋 信

資源やエネルギーの節約だけでなく、ゴミの減量にも役立ち、地球温暖化防止に繋がるリサイクル推進活動。当自治会では永年、保

健衛生部が中心となり、地域民と小中学校PTAの協力のもとに年4回の資源回収に取り組みます。

自治会活動として、地域づくり交付金事業を活用したストックヤードの整備(大型保管倉庫3棟設置)および管理・監視体制の確立(365日搬入受入れ)、集積所に持ち込まれた資源回収品の分別など、回収量増大に向けた積極的な活動を推進してきました。

これまでの活動を把握されている今弘商店さんの推薦により、昨年12月に「公益財団法人古紙再生促進センター」から東北6県で8団体、岩手県からは唯一「星が丘一丁目自治会」が感謝状交付を受けるという名誉な賞を頂くことが出来ました。

受賞式は12月13日、仙台サンプレザホテルで行われ、自治会を代表して私が参加しました。会場には経済産業省の来賓の方々が多く緊張の始終でしたが、受賞の喜びと、これまでの苦労が報いられる一時でもありました。

半面、年々全体的に回収量が減少しているのも事実であり、改めて、我々会員一人ひとりのリサイ